

ウェザーニューズ(4825)



－ 上期は円高もあり減収減益 －

ウェザーニューズが27日に発表した2017年5月期の上期決算は、売上高が前年同期比2.5%減の69億円、営業利益が同11.0%減の14億円となりました。売上高は、法人向け気象サービスが航海気象で新規受注があったものの、海運業界の荷動きの減少や円高の影響で減収となったことや、個人向け気象サービスもガラケー会員の減少などで減収となり、会社計画を下回って着地しています。

また、営業利益は売上高の減少や円高に加え、アジア展開のための人材や生産性向上に向けた開発スタッフの採用による人件費増、IT開発のアウトソース費用の増加などから減益となりました。こちらでも会社計画を下回って二桁の減益となっています。

しかし、通期予想は売上高で前期比3.4%増の150億円、営業利益で同0.4%増の34億円という増収増益の計画が据え置かれました。上期に前期末比50隻増と伸び悩んだ航海の運航コストの最適化を支援するOSRサービスがここに来て200隻増の2900隻まで伸びており、それが今期末には500隻増の3200隻となる見通しで、下期の巻き返して通期計画の達成を目指すとみられます。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会